

みんなと共に
がんばろう! 東北

平成24年度

安全報告書

岩手開発鉄道株式会社

1. 経営責任者からのメッセージ

弊社は『安全第一』をモットーとし、輸送の安全・安定運転を実現するために、毎年、安全方針・安全目標を定め活動しております。その中で、「運輸安全マネジメントの推進」、「関係法規等コンプライアンスの徹底」を図ると共に、安全・安定運転の先取り活動として「リスク管理の推進」に努めております。更に、万一事故が起こった場合の迅速な人員救出、二次災害防止、早期復旧を目的に「事故想定訓練」を実施するなど、震災等異常時の対応についてもスムーズに行えるよう取り組みを実施しています。

また、平成24年度は「リスクアセスメント」を全社で実施し、職場の安全体制、意識の強化を図りました。

活動の結果として、平成24年度は「鉄道輸送における事故0」その他「労働災害でも災害0」を達成することができました。今後とも、安全・安定運転を実現するための活動を徹底し、「事故0、災害0」を継続する所存です。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全管理体制の実態について自らが振り返り反省し更なる推進を図ると共に、広く当社関係機関及び地域住民をはじめとするあらゆる関係者にご理解を頂くために公表するものであります。

皆様からの声を、これからの輸送の安全・安心の活動に役立てたいと考えています。積極的なご意見を頂ければ幸いに存じます。

岩手開発鉄道株式会社

代表取締役社長 須藤 董

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

鉄道事業法など関係法令並びに輸送の安全を確保するために社内で定めた安全管理規程及び基準を遵守し、輸送の安全の水準の維持及び向上を図ることとしております。

安全に係る行動規範は、安全綱領に定める次の通りとする。

- ① 安全の確保は、輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。
- ④ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速に、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に安全意識を持ち、必要な変革に挑戦する。

3. 安全衛生方針と目標

安全と健康は企業活動の基礎であり、「安全第一」を最優先させた活動を実施・展開していく。明るく活気ある、顧客・地域から信頼される企業は、安全と健康から作り出されるもので、そのために十分な話し合い・検討を行い、全社一丸となる風通しの良い職場を目指していく。

[安全衛生方針]

- ① 運輸安全マネジメントの確実な運用とシステムの改善の推進
- ② リスクアセスメントの確実な実施による本質安全の先取り
- ③ 交通ルールの厳守と予防運転の徹底による交通事故防止の推進
- ④ 健康目標を自らが決め、日々の自主管理による健康の確保

[安全目標]

- | | | | |
|---|--------|---|----|
| ① | 鉄道事故 | : | ゼロ |
| ② | 労働災害 | : | ゼロ |
| ③ | 交通事故 | : | ゼロ |
| ④ | 疾病長期休業 | : | ゼロ |

※安全衛生方針・目標は、毎年度末に実績を把握・評価し、その結果に基づき見直しを行う。

4. 輸送の実態

弊社は、昭和14年に産業振興と沿線地域の開発を目的に創立され、第二次世界大戦で工事の中断を経て昭和25年営業を開始しました。昭和36年からは現在の基となる石灰石輸送も開始され、旅客部門・貨物輸送部門とが両輪となり地域の振興に寄与してまいりました。しかし、旅客数の減少に伴い平成四年には旅客営業を廃止し貨物輸送専用鉄道となり、セメント原料である石灰石輸送を担っております。

今年度は、震災からの復旧・復興に向けたスタートの年、輸送量は復興需要に支えられ、ほぼ震災以前の状態に戻りつつあります。安全安定輸送が復興に向けた力になることを確信し、全社員責任感を持って日々努力しております。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
上期計	917,280	878,850	982,170	0	771,120
下期計	964,530	887,670	977,760	412,615	945,630
年度計	1,881,810	1,766,520	1,959,930	412,615	1,716,750

(単位：トン)

5. 設備等の整備

(1) 平成24年度整備事業

- ① 内燃動車燃料補給用給油機更替
- ② 落石防護網設置
- ③ 検修用エアーコンプレッサー設備
- ④ 環境測定機器（騒音・振動）更新
- ⑤ 全方向形踏切警報灯設置、警報スピーカー増設
- ⑥ 40Nレール購入
- ⑦ 土木構造物補修
- ⑧ 携帯無線機増設
- ⑨ 軌道検測工事
- ⑩ モーターポイント更替
- ⑪ 機関車排煙対策（エンジン始動時の白煙軽減及びエンジン始動性の向上対策）

(2) 今後の整備事業（年々計画的に実施予定）

- ・ 軌道検測工事
- ・ 土木構造物補修工事
- ・ 信号灯更替
- ・ 信号・通信ケーブル更新
- ・ 貨車開閉装置改良
- ・ 自動連結器更替

6. 安全確保への取組

安全衛生方針にそって安全重点施策を掲げ、その安全重点施策を具体的項目に展開し各グループで取組んでいます。この安全重点実施事項は、年度当初において安全衛生方針を達成するための方策として決定され、四半期毎に進捗状況をチェックし、PDCAサイクル手法を周知しながら推進します。また、2月には内部監査を実施し、年度末にはその結果と年間の安全活動の進捗度及び達成度が報告され、次年度の活動に活かされることとなります。

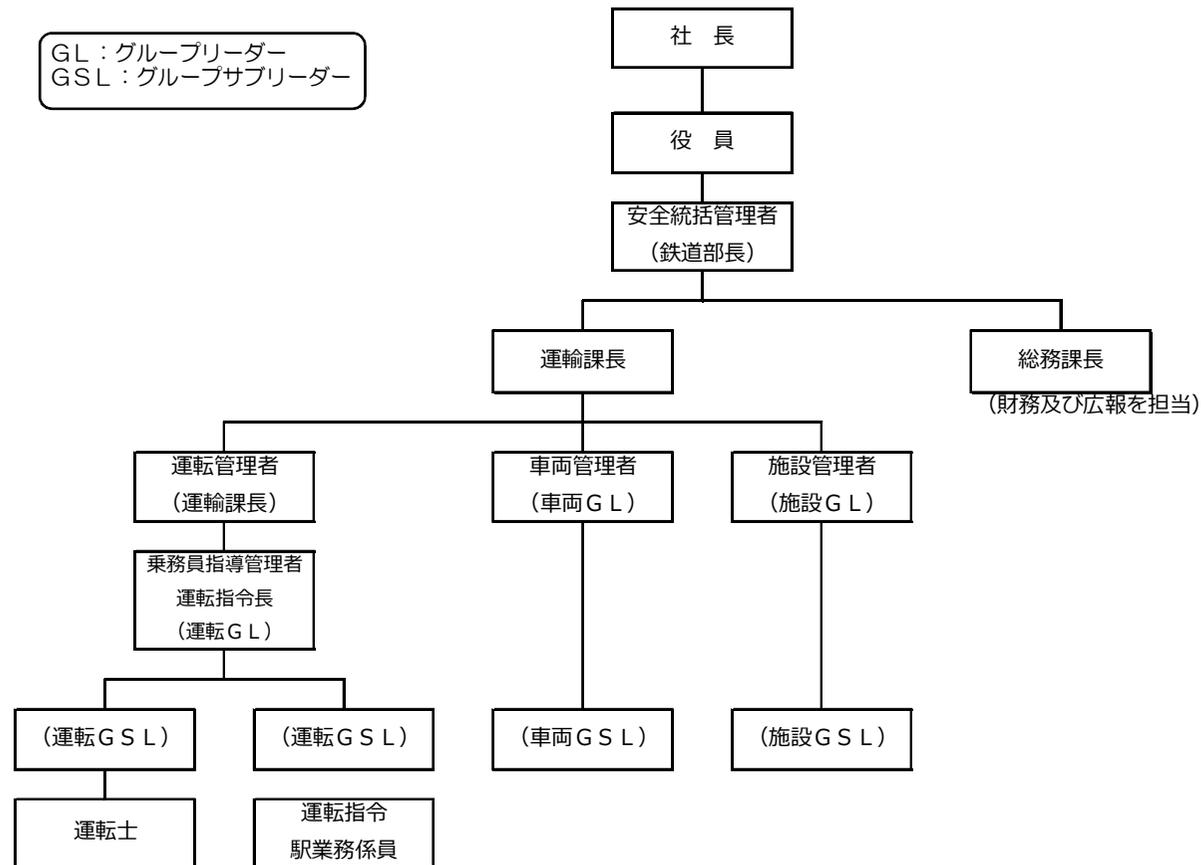
[安全衛生重点実施事項]

- ① 運輸安全マネジメントの確実な運用と関係法令の遵守
- ② K Y ・相互注意・ヒヤリハット把握活動の推進
他社事故事例、災害事例の横展開
- ③ 交通安全の推進
- ④ 健康増進活動の推進

7. 安全管理体制

(1) 安全管理体制

当社の安全管理体制は下記のとおりです。この組織の中で示す各管理者の責務は安全管理規程で明確に定められており、それを実行することで安全輸送を確実なものとしています。



(2) 各管理者の責務

各管理者の輸送の安全に係る責務は次の通りです。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄道部長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運輸課長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
総務課長	輸送の安全の確保に必要な財務に関する事項を統括する。
運転グループリーダー (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設グループリーダー (施設管理者)	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
車両グループリーダー (車両管理者)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

(3) 安全管理の取組み

① トップによるコミュニケーション

朝礼、ヒアリング、現場での定例会議（業務研究会等）に参加する等現場とのコミュニケーションに努めております。

② 安全衛生委員会

社長をトップに、安全統括管理者、衛生管理者、安全教育担当、グループリーダー、組合執行委員がメンバーとなり毎月定例会議を開催し、リスクアセスメント、ヒヤリハット、輸送障害、自然災害、車両故障、踏切障害、信号障害等の原因究明、緊急対策、恒久対策等を検討し、事故防止、再発防止に努めております。

③ 異常時における連絡体制

鉄道運転事故及び自然災害などに備え、異常時の連絡体制を構築しています。また、事故想定訓練を実施し異常時の対応について実践訓練を行っています。

④ パトロールの実施

年間指導計画書に基づき、社長、安全統括管理者、衛生管理者、安全教育担当、グループリーダー、組合執行委員により各施設、職場の巡視を行い安全の確保と衛生の改善に取り組んでおります。

⑤ 職場における安全活動

各職場では、月例点検（設備の定期点検）、業務研究会を毎月開催し、日常の懸案事項についての討議や学習会を実施し、安全レベル向上を図っています。また、運輸安全マネジメントの実践状況のチェック及びシステムの問題点についても討議し、改善を行っています。年に1度は内部監査を行い実施状況をチェックし改善に結びつけています。

8. 安全活動の具体的行動

安全活動の具体的な行動として、当社では事故想定訓練、内部監査、QC活動、KY活動、リスクアセスメント、スキル教育、相互注意、ヒヤリハット、踏切啓蒙活動など実施しております。

【リスクアセスメント研修会】



【想定訓練】



9 地域住民の皆様との連携

- (1) 沿線にある小学校を訪問し、交通安全・鉄道事故防止の啓蒙活動を行っております。
- (2) 定期的に、踏切での街頭指導やチラシの配布、沿線住民宅へ訪問し踏切事故防止啓蒙活動を行っております。
- (3) 3つの鉄道会社（三陸鉄道様、JR東日本様、弊社）の共催で実施する『3鉄まつり』において、地域住民の皆様と交流を図っております。
- (4) ご意見・ご要望をお待ちしております。

地域の皆様から愛される鉄道として「安全マネジメント」を柱に、日々努力しております。お蔭様で今年度も無事故で過ごすことが出来ました。ご理解ご協力大変ありがとうございました。今後とも地域住民の皆様とともに進んでいきたいと思っておりますので、ご意見、ご要望がございましたら下記窓口までお寄せいただけましたら幸いです。

お客様ご案内窓口

岩手開発鉄道株式会社 地域住民ご案内窓口

TEL 0192-26-3127 FAX 0192-25-0666

E-Mail info@kaihatsu-railway.co.jp

月曜日～金曜日 8：00～17：00（お盆・年末年始を除く）